

審査の結果の要旨

氏名 須沢 菜

本論文では、東日本大震災以降、市町村や県境を跨いで仮住まいを確保する遠隔地避難が顕著な動きとなっていること、遠隔地避難者は行政支援の対象から外れやすいことへの問題意識から遠隔地避難に焦点を当てている。その上で、本研究では、東日本大震災において岩手県盛岡市によって行われた遠隔地避難者への居住支援の実態の解明を通して、複線型復興プロセスを実現するために必要な居住支援の条件を明らかにすることを試みている。

1章は、序論である。遠隔地避難者への支援の根拠、生活再建の見通しと複線型復興プロセス、実現手段である居住支援について概念整理を行い、本研究の視座を示している。

2章では、遠隔地避難者を対象とした居住支援制度について明らかにすることを目的として、災害時の居住支援メニューの利用条件と岩手県の遠隔地避難者への居住支援実施状況の把握を行い、主に次のことを明らかにしている。居住支援メニューの利用条件は被災自治体に紐づいていること、被災者の生活支援、居住支援に関する国レベルの予算措置は確立されておらず、対象地域を網羅できていないこと。岩手県社会福祉協議会では統一的な指標を用いて被災者の要支援度を量的に把握する仕組みを構築していること。

3章では、遠隔地避難者を対象とした居住支援業務の内容と手法を明らかにすることを目的として、岩手県盛岡市の居住支援主体（もりおか復興支援センター）へのインタビュー調査から、要支援者の把握方法、運営手法と職員の特徴、業務内容の変遷について把握を行い、主に次のことを明らかにしている。センターでは、行政提供情報を元に盛岡市への全ての避難者に接触を試みていること。センターでは、被災自治体HP・地域誌から住まいに関する最新情報を把握し、世帯の状況や要望に応じた情報を提供していること。当初は帰郷を念頭に置いていたが、時間の経過に伴い、平時の支援機関と連携し盛岡市に留まる世帯の支援へと移行していること。

4章では、遠隔地避難者の中の平時の住宅確保要配慮者の存在と居住動向を

明らかにすることを目的として、岩手県盛岡市への遠隔地避難者を対象として、居住支援主体への登録情報から、避難経緯と世帯属性、居住地・住まいの経年変化の把握を行い、主に次のことを明らかにしている。盛岡市に「留まる」場合、資力のある世帯は早期に持家を取得し、相対的に家計にゆとりのない世帯は、期限直前まで借上型仮設住宅に入居し、その後、賃貸住宅に移ること。遠隔地避難者のうち、約8割の世帯が平時要配慮者に該当し、「留まる」では「戻る・移る」と比較して平時要配慮者の該当割合が1~2割高く、特に障がい者を含む・生活困窮に該当する世帯の割合に大きな差が見られること。

5章では、遠隔地避難者の居住の安定に関する課題を明らかにすることを目的として、岩手県盛岡市への遠隔地避難者を対象に、居住支援主体の支援記録から住まいに関連する課題の抽出と整理を行い、課題の要因について考察を行った結果、主に次のことを明らかにしている。被災後に世帯分離した場合、双方の世帯が本設住宅の支援制度を利用可能かどうか、不透明な状態にあり、次の住まいの見通しが立たない状況が生まれていたこと、応急仮設住宅での近隣トラブルなどやむを得ず加算支援金を利用した場合であっても加算支援金を全額返金しなければ災害公営住宅に入居できないことが障壁となっていたこと。

6章では、前章で判明した支援制度との間に不整合がみられたケースについて、文献調査と各機関へのインタビュー調査から法令・運用方針との照合を行い、制度のどのようなところで課題が生じているのか、具体的な内容を明らかにし、今後の居住支援制度のあり方について検討した結果、主に次のことを明らかにしている。要件緩和の明確な判断基準は存在せず、当事者に生じている課題を全てカバーできている訳ではない。このような状況に対し、困窮度・要支援度判定が一定の基準を超え、特に問題が深刻化しやすい世帯に関しては支援制度の利用要件を緩和するといった対応策が考えられること。

7章では、複線型復興プロセスの実現に必要な遠隔地避難者への居住支援の条件について、支援業務の内容（福祉的なアプローチによる支援ニーズの把握と対応、意向・要望に応じた情報提供、計画作成および修正の技術的補助、居住支援主体の要支援度判定に基づく要件緩和）、居住支援実施の体制・手法（平時の居住支援主体の活動想定と連携、被災自治体との連携と情報整理、国レベルでの予算措置と支援実施エリアの網羅）を抽出し、結論としている。

以上のように、本論文では膨大な量の世帯データを取得し、緻密な分析により、遠隔地避難者の実態と課題を明らかにし、制度、運用方針の観点での分析から具体的な提案へと結び付けている。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。